

はちまんやま
八幡山

八幡山は、近江八幡市街の北に位置する標高272mの孤立山塊で、鶴が両翼を広げたような形に見えることから鶴翼山とも呼ばれています。山頂には1585年に豊臣秀次公が築城した八幡山城址があり、麓からロープウェイで行き来できます。八幡山城址から尾根伝いの縦走路を北へ進むと、石垣ではなく土塁で囲まれた中世の山城・北之庄城址があります。縦走路は歩きやすく整備されており、四季折々の里山風景や、眼下に水郷・琵琶湖を眺望できる絶景を楽しめます。

いしがき
石垣見える化プロジェクト

八幡山城址の西の丸・出丸の石垣が、雑木や背の高い篠竹で覆われて見えなくなっていたため、「八幡山の景観を良くする会」が、冬場の活動として2017年から除伐作業を行ってきた結果、今では麓の旧市街からでも八幡山城址の石垣がはっきり見えるようになりました。さらに、麓の秀次公館跡や家臣団屋敷跡も整備して、高石垣がそびえる往時の姿の復元を目指しています。数百年の歳月を越えて現存する豊臣秀次公ゆかりの石垣群をぜひ見て、触って、感じてください。



八幡山の景観を良くする会（八景会）

地元有志のボランティアグループ。2005年春から、八幡山の南麓に広がる荒廃竹林の整備や、コナラ林・遊歩道の除草作業を継続的に行っています。ナラ枯れ被害で伐倒されたコナラ林に160本のコナラ幼木を植樹すると共に、山の彩りをなすため、ミツバツツジの植樹も行ってきました。同年12月には八幡山縦走路も新たに開設し、北の丸～百々神社間の整備も行っています。一方、麓の竹林では「一般社団法人秀次家臣団屋敷跡竹林を守る会」のボランティアグループが1.3㍓の荒廃竹林の整備に汗を流しています。

八幡山の景観を良くする会HP
<http://hachimanyama.ciao.jp>
(活動の様子や最新情報はBLOG記事を参照ください)

八幡山周辺の見どころスポット！

A 日牟禮八幡宮
八幡山の麓に鎮座する日牟禮八幡宮は、「八幡さま」として広く親しまれ、近江商人の信仰も厚く、近江八幡の地名の由来にもなっています。創建は西暦131年で、主祭神は菅田別尊（應神天皇）、息長足姫尊（神功皇后）など。信長ゆかりの「左義長まつり」、應神天皇ゆかりの「八幡まつり」は勇壮な火祭りとして有名。八幡山がルーツの神社なので、八幡山に登る際には、まず参拝することをお勧めします。



B 八幡堀
八幡山城の防御のために造られた八幡堀は、琵琶湖や西の湖とも通じ、水運の要衝としても利用され、堀沿いには物資を貯蔵する土蔵が並び、近江商人発展の礎になりました。高度成長期にドブ川と化し、一時は埋め立てて道路にする計画が進みましたが、市民の反対運動によって保存・修景され、今や近江八幡を代表する観光スポットとなりました。時代劇のロケ地としても知られるお堀端を、江戸時代の風情と四季折々の景観を楽しみながら散策しましょう。



C 近江商人の町並み
八幡山城城主の豊臣秀次公は、明智軍によって落城した信長公の安土城下から町人を移住させ、碁盤の目の城下町を整備しました。そこでは楽市楽座等の政策により商業が栄え、八幡堀の水運も活かして、全国各地に雄飛する多数の豪商を生み出しました。この古い町並みは今も往時の面影を色濃く残っていて、国の伝統的建造物群保存地区に指定されており、見学可能な商人屋敷や資料館もあります。



D 水郷めぐり
八幡堀から北之庄沢、長命寺川、西の湖にかけて広がる湿地帯は、「近江八幡の水郷」として国の重要文化的景観全国第1号にも選定されている絶景スポットです。情緒あふれる屋形船に乗ってヨシ原が一面に広がる水郷地帯をめぐり、ゆったり流れる時間を満喫してください。



E ヴォーリス建築群
ウィリアム・メレル・ヴォーリス（一柳米来留）は、明治末期にアメリカから来日し、近江八幡を拠点にキリスト教の伝道や建築設計、学校や病院の経営など多方面で活躍し、近江八幡市名誉市民第1号になりました。特に彼が設計を手掛けた建物は「ヴォーリス建築」として全国に多くのファンを有しています。八幡山周辺には、彼が設計した温かみにあふれる建築物が20以上現存しています。



F たねや・クラブハリエ・ラコリーナ
日牟禮八幡宮の隣には近江八幡随一の和菓子の老舗「たねや」の店舗があり、食事や甘味を堪能できます。向かいには、バウムクーヘンで有名な系列店「クラブハリエ」の洋館があります。また、八幡山の東麓には、たねやグループのフラッグシップ店「ラコリーナ」があり、里山の生態系を模した独特の空間を楽しむことができます。



滋賀 近江八幡
八幡山
豊臣秀次公ゆかりの八幡山を極める。
周遊ガイド&マップ
底 探 衛 検
Mt. Hachiman Hiking Guide and Map
近世の城郭VS中世の城郭／石垣見える化プロジェクト
(八幡山城) (北之庄城)



ハイキングガイド

《八幡山登山道》

日牟禮八幡宮 ⇄ 山頂展望館 … 約30分

秀次公銅像 ⇄ 山頂展望館 … 約30分

《八幡山縦走コース》

百々神社 ⇄ 北の丸跡 … 約120分

はちまんやまじゅうそう

八幡山縦走コース

パノラマ絶景

南北に延びる八幡山の尾根伝いに、最北端の百々神社から北之庄城址を経由して八幡山城址に至る全長約5kmのハイキングコース。アップダウンはありますが、険しい道は少なく、子どもの足でも十分踏破できます。途中、重要文化的景観展望台や北虎口上展望台からは、水郷めぐりの屋形船が行き交う様子が眼下に迫り、西の湖の奥に織田信長公の安土城址がある安土山、観音寺城址がある織山、さらに遠方には滋賀県最高峰の伊吹山までをも眺望することができます。また、琵琶湖・長命寺・比叡山方向を眺望できるポイントもあり、風景や自然を楽しみながら飽きずに走破できるコースになっています。



きたのしょう じょうし

北之庄城址

中世城郭跡

七ツ池

狼煙台

八幡山城北の丸から八幡山縦走コースを20～30分進んだところにある中世の山城。別名岩崎山城。佐々木六角氏の観音寺城の付城として築城されたとの史料が見つかるだけで、詳細は不明です。上下2段の曲輪(城郭内の区画)を取り囲む重厚な土塁や堀切。随所に見られる虎口は見事で、立派な山城であったことを物語っています。下段の曲輪には「七ツ池」と呼ばれるすり鉢状の窪みが並んでおり、雨水が溜まっています。虎口の上や狼煙台跡など、数箇所から周囲の景色を眺望できます。

■麓から八幡山を眺望できるおすすめ写真スポット



■八幡城址からのパノラマ絶景スポット



はちまんやま じょうし

八幡山城址

近世城郭跡

パノラマ絶景

高石垣群

縦走路入口

恋人の聖地

天下人となった秀吉公の甥であり、関白にまで抜擢されるも、28歳で悲運の最期を遂げた豊臣秀次公の居城。ロープウェイ山上駅近くの山頂展望館(二の丸跡)からは八幡旧市街を、北の丸跡からは国重要文化的景観全国第1号に選定された水郷地帯を、西の丸跡からは広大な琵琶湖と比叡山・比良山系を、それぞれ眺望することができます。絶景のデートスポットであることから「恋人の聖地」としてモニュメント等も設置されています。

本丸跡には秀次公の菩提を弔う瑞龍寺があり、その山門はちょうど本丸の虎口(城の入り口)に位置しています。城郭周囲の石垣は織豊期の石積技術発展の過渡期のもので、自然石をそのまま積んだ野面積みで、石垣の反りも無く直線的に積み上げられているのが特徴です。山頂展望館には八幡山城に関する資料が展示されています。

はちまんこうえん

八幡公園

秀次公館跡

家臣団屋敷跡

高石垣群

秀次公銅像

登山口

八幡山の南麓に位置する市立図書館横の坂道の奥に、八幡公園が広がっています。公園の東側には遊具やグラウンド、約500本の桜が植えられた里山内の遊歩道等が整備され、八幡山登山道にも通じています。公園の一角には、かつて八幡山城の城主だった豊臣秀次公の銅像が、城下町を見下ろすようにひっそり佇んでいます。一方、公園の西側には、秀次公とその家臣団が住んでいた屋敷跡地があり、その中央を貫く大手道に立つと、両側にひな壇状に連なる高石垣が壮観です。八幡山城ができる前、この土地には天台宗願成就寺の寺城があり、八幡山城が破却された後は稲荷社が建造されていたと考えられています。

